

特定非営利活動法人

霧ヶ峰基金



2017 年度 活動報告書



理事長あいさつ

特定非営利活動法人霧ヶ峰基金が発足して12年が経過しました。活動の基軸を「エコツーリズムの普及・啓発」、「霧ヶ峰の環境保全」に据えて活動してまいりましたが、活動の継続は会員のみなさまをはじめ、関係各位の並々ならぬご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

昨年度に引き続き「信州 山の月間」のイベントにエントリーしましたが、お陰様でエコツアー「八島ヶ原湿原ハイク」を複数回催行することができました。今年は地元新聞社の同行取材があり、ツアー翌日に新聞に大きく取り上げられ驚きました。

環境省で実施しています「モニタリングサイト1000里地調査」の一環として参加しています、「霧ヶ峰高原八島ヶ原湿原外周モニタリング調査」は10年目に入りました。

東京で開催されましたモニタリングサイト交流会に参加し、積極的に成果発表も行いました。

霧ヶ峰の大きな行事であります、霧ヶ峰開山祭、旧御射山神社例祭に参列し、霧ヶ峰に訪れるみなさまの安全祈願をいたしました。春、秋の雑木処理作業では、霧ヶ峰の環境保全並びに広く関係者と交流のできた年でもありました。

限られた紙面ですべてを語ることが年々困難になりつつありますが、今年度の活動内容のご理解と今後のご支援につながれば幸いと存じます。

特定非営利活動法人霧ヶ峰基金 理事長 小原宏文

目次

法人諸元	1
今年のあゆみ	1
財務状況	2
トピックス	3
エコツーリズムの普及	4
霧ヶ峰に関する調査研究	6
霧ヶ峰における環境保全活動	8
まとめ	9

表紙写真

早春の八島ヶ原湿原のヤドリギ
車山肩のニッコウキスゲ
旧御射山神社例祭（甲冑演武奉納）

霧ヶ峰開山祭
盛夏の八島ヶ原湿原
秋の雑木処理（車山肩方面）

裏表紙写真

くらしいきエコフェスタ、モニタリングサイト1000里地調査全国交流会2017で展示した新規ポスター
クイズの答え：3ヨツバヒヨドリ

法人諸元

団体の目的	ハケ岳中信高原国定公園霧ヶ峰高原の利用者に対して、エコツーリズムの普及・啓発に関する事業を行い、霧ヶ峰の環境保全に寄与することを目的とする。
団体の活動	1. 霧ヶ峰保全事業 2. エコツーリズムの普及・啓発事業 3. 霧ヶ峰に関連する調査・研究事業 4. 霧ヶ峰に関連する出版物刊行事業 5. 霧ヶ峰に関連するオリジナル商品の製作・販売事業
活動の方向性 ビジョン	長期目標「かつての採草地としての草原利用から、霧ヶ峰の自然保全が可能かつ現代に合った利用方法の再構築」 中期目標「霧ヶ峰のもつ資源価値（歴史、文化、エネルギー資源、観光、経済効果などの多角的な視点による）の再発見」
定期刊行物	会報（５、９、１１、１月刊）、活動報告書（翌年５月刊）会員及び関係機関に配布、発行部数２００部
会員数	賛助会員４０名、正会員１０名（２０１８年２月末日現在）
所属団体	下諏訪商工会議所、霧ヶ峰草原再生協議会

今年のあゆみ

4月	9日	・正副理事長 打ち合わせ ・棚卸、2016年度活動報告書 発行
	16日	・霧ヶ峰巡回（踊場湿原方面）
	22日	・諏訪市主催 平成29年度霧ヶ峰高原再生事業（雑木処理） 参加 （踊場湿原方面）
	26日	・諏訪地域振興局 環境部 訪問
	29日	・ころぼっくるひゅって、高原の店 オリジナルでぬぐい、ポストカード 販売開始 ・霧ヶ峰自然保護センター、八島ビジターセンター、訪問 ・モニタリングサイト1000里地調査「霧ヶ峰高原八島ヶ原湿原外周」（植物・水質） ・下諏訪町埋蔵文化財センター 視察
5月	2日	・霧ヶ峰基金会報2017年5、6、7月号発送（通算68号）発行
	3日	・正副理事長 打ち合わせ
	7日	・モニタリングサイト1000里地調査「霧ヶ峰高原八島ヶ原湿原外周」（植物・水質）
	8日	・茅野エコツーリズム協議会 定例総会委任状、退会届 提出
	15日	・小和田牧野農業協同組合 鎌ヶ池無料休憩所 使用許可申請
	16日	・霧ヶ峰巡回（踊場湿原方面）
	19日	・小和田牧野農業協同組合 鎌ヶ池無料休憩所 使用許可書受領 ・諏訪地域振興局 環境課 電話打ち合わせ
	20日	・諏訪地域振興局 環境課 鎌ヶ池無料休憩所 看板設置申請 ・正副理事長 打ち合わせ
	28日	・一般社団法人諏訪観光協会、霧ヶ峰強清水自治会主催 霧ヶ峰開山祭 出席
	29日	・モニタリングサイト1000里地調査「霧ヶ峰高原八島ヶ原湿原外周」（植物・水質） ・鎌ヶ池無料休憩所 開設
6月	18日	・霧ヶ峰巡回（八島ヶ原湿原木道） ・モニタリングサイト1000里地調査「霧ヶ峰高原八島ヶ原湿原外周」（水質）
	24日	・2015年度定例総会・理事会
	25日	・モニタリングサイト1000里地調査「霧ヶ峰高原八島ヶ原湿原外周」（植物・水質）

7月	9日	・霧ヶ峰巡回（八島ヶ原湿原）
	15日	・霧ヶ峰巡回（車山肩周辺、八島ヶ原湿原）
	16日	・エコツアー「八島ヶ原湿原ハイク パート1」 催行 ・諏訪警察署 エコツアー中に発見した拾得物を届ける。（無事 持ち主に届く）
	22日	・モニタリングサイト1000里地調査「霧ヶ峰高原八島ヶ原湿原外周」（植物）
8月	5日	・霧ヶ峰巡回（八島ヶ原湿原） 雷のため、途中で中止
	11日	・エコツアー「八島ヶ原湿原ハイク パート2」 催行
	13日	・エコツアー「八島ヶ原湿原ハイク パート3」 催行
	14日	・霧ヶ峰巡回（車山肩方面）
	19日	・モニタリングサイト1000里地調査 第4期（2018～2022年度）説明会 出席（東京）
	26日	・モニタリングサイト1000里地調査「霧ヶ峰高原八島ヶ原湿原外周」（植物・水質）
	27日	・上桑原牧野農業協同組合主催 霧ヶ峰本御射山神社例祭 出席
9月	16日	・モニタリングサイト1000里地調査「霧ヶ峰高原八島ヶ原湿原外周」（植物）
	21日	・霧ヶ峰基金会報2017年8, 9, 10月号発送（通算69号）発行
	24日	・諏訪市主催 平成29年度霧ヶ峰高原再生事業（雑木処理） 参加 （車山肩方面）
10月	1日	・諏訪市主催 ぐらしいきぎエコフェスタ ブース展示
	8日	・正副理事長 暑気払い、打ち合わせ（うな富）
	14日	・正副理事長 打ち合わせ
	24日	・鎌ヶ池無料休憩所 撤収
11月	5日	・ころぼっくひゅって 訪問
	19日	・第13回エコツーリズム大賞 応募
12月	3日	・正副理事長打ち合わせ
	8日	・事務所大掃除
	9日	・事務所大掃除、納会（山猫亭）
1月	13日	・ナガクル登録会・フォローアップ講座 出席（長野市）
	20日	・モニタリングサイト1000里地調査 全国交流会2017 出席 ポスター展示（東京）
	28日	・公益法人日本自然保護協会 保全研究部 2016年モニタリングサイト里地調査データ送付（上期、下期）
2月	2日	・霧ヶ峰基金会報2017年11, 12, 2018年1月号発送（通算70号）発行 ・霧ヶ峰基金会報2018年2, 3, 4月号発送（通算71号）発行
	19日	・諏訪市主催 平成28年度霧ヶ峰草原再生事業打ち合わせ会議 出席
	24日	・正副理事長打ち合わせ
		・信州諏訪ガラスの里 オリジナル手ぬぐい納品

財務状況

2016年度（2016年4月1日～2017年3月31日）会計収支貸借対照表（単位：円）

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金預金	543,935	未払金	0
未収金		預り金	0
棚卸資産売店	257,841	流動負債合計	0
流動資産合計		2 固定負債	
2 固定資産		固定負債合計	0
什器備品	0	負債合計	0
有形固定資産計	0		
固定資産合計		III 正味財産の部	
資産合計	801,776	正味財産	801,776

トピックス

霧ヶ峰開山祭

一般社団法人諏訪観光協会、霧ヶ峰強清水自治会主催による、霧ヶ峰開山祭に出席しました。

晴天のもと、スキー場ゲレンデ上の霧鐘塔前広場において、安全祈願とともに交流を深めてきました。

開山祭では頭上を飛翔するグライダーの影に驚かされ、一瞬、青空を見上げたことが昨日のことように思い出されます。



開山祭 さわやかな空

もともさやまさい 旧御射山祭

8月には、上桑原牧野農業協同組合主催による、霧ヶ峰旧御射山神社例祭に出席しました。

草原に宮司の笛が響く例祭は、御射山祭を詠った和歌、俳句の紹介のほか、甲冑演武奉納もありました。文武両道の御射山祭でした。



旧御射山祭



甲冑演武奉納

ポスター展示

9月に諏訪市主催「くらしいきいきエコフェスタ」、1月には公益法人日本自然保護協会主催「モニタリングサイト1000里地調査 全国交流会2017」においてポスター展示をしてきました。

「くらしいきいきエコフェスタ」恒例のスタンプラリーのクイズは、

『南方から霧ヶ峰にやってくる蝶「アサギマダラ」が吸蜜する、植物の名前は何でしょう』。

- ① フタバハギ
- ② ミツバツチグリ
- ③ ヨツバヒヨドリ

答えは、ページを戻り目次の下に。展示したポスターは活動報告書裏表紙をご参照ください。



モニタリングサイト交流会の展示

今年は夏花、秋花、アサギマダラ・・・ 八島ヶ原湿原ハイク パート1, 2, 3

昨年度に引き続き、会員向けに企画しましたエコツアー「八島ヶ原湿原ハイク」を「信州 山の月間イベント」にもエントリーし、ツアー参加者の募集をいたしました。当初、パート1（7月16日）、パート2（8月11日）の2回の企画でしたが、パート3（8月13日）も追加催行いたしました。

パート1 盛夏の湿原巡り

7月のパート1では、涼風、壮大な八島ヶ原湿原をご案内しつつ、散策路に入れ替わり登場する草原の植物をご紹介します。ニッコウキスゲをメインに、ノアザミ、ノハナショウブ、コウリンカ、コオニユリ、キバナノヤマオダマキなど花の競演は見事でした。車山肩と呼応するが如く、八島でもたくさんのニッコウキスゲが開花し、お客様は大喜びでした。また、これから咲きそうなヤナギランを見つけ、来月の開花を想像しながらの散策でもありました。



ニッコウキスゲの群生を鑑賞



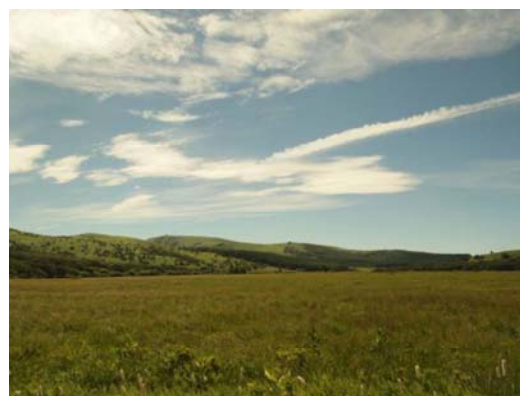
盛夏には木陰を提供



今年度は、車山肩も、八島湿原もニッコウキスゲの開花が見事でした。



エコツアーのスタートは霧



青空、涼風、壮大な湿原

鎌ヶ池無料休憩所

今年もみなさまからのご寄付、会費で運営しています、「鎌ヶ池無料休憩所」で休憩をとりツアーいたしました。草原散策の貴重な木陰として入れ替わり多くの方のご利用がありました。

パート2&3 盆花の湿原巡り

8月のパート1&2では、先月つぼみであったヤナギランの群生、ヤナギランに留まるノビタキの囀^{さえず}りを楽しみました。印象に残ったもう一つのシーンは、ヨツバヒヨドリに飛来するアサギマダラでした。短時間で5~6頭のアサギマダラに遭遇したパート2、そして、2頭のアサギマダラが優雅に飛翔するのをじっくり観察できたパート3。お客様は、壮大な湿原、華麗な花々のほか、力強いアサギマダラの飛翔から元気もらったようでした。



ヤナギランの群生を観察



(上) お客様はアサギマダラをスマホでワンカット
(右) お客様の後ろから不肖はズームでワンカット



ヨツバヒヨドリに吸蜜するアサギマダラ



霧とワレモコウでワンカット
お客様のお話では、小さい頃、ワレモコウを
ボンボンチクと呼んでいたそうです。



エコツアー中、木道でワンカット
地元新聞社の同行取材の後のひと時

結び

涼風、オールスター競演の花々、リピータ、新たなビジター、さらに地元新聞社の同行取材のあるなか、和気あいあいとしたエコツアーでした。

霧ヶ峰に関する調査研究

モニタリング サイト 1000 里地調査 霧ヶ峰高原八島ヶ原湿原外周調査

調査内容を右表にまとめてあります。

調査はほぼ昨年同様の時期に八島ヶ原湿原を大きく周遊する約4kmルートを歩きながら行いました。モニタリングも今年で10年目です。

気象概況と確認種数・花のリレー

諏訪地方の昨年の気象概況は、5月～7月まで例年より気温が高く、少雨。標高の高い霧ヶ峰においては、草本類に開花（殊にニッコウキスゲ）が見事であったのは気圧の配置による天候が多少なりとも影響したかと推測されます。

モニタリング調査において、7月の水環境調査では小川、湧水の流量が例年になく少なかったことが印象に残っています。

8月は、天候不順により日照時間が7月より減少。花のリレーは4月から9月にかけておおむね例年の推移を確認しましたが、9月植物調査ではおそらく10月は枯れた植物が多くなることを予測し欠測にしました。

確認種数

調査は草本の顕花植物（花のある草）のみを対象にしていますが、確認種した花の種は149種でした（昨年は147種）。近年はシダ植物、木本、イネ科も調査対象にしたことも挙げられます。



モニタリング調査のスタートは霧
途中から晴れることが多かったです。

今年度の調査内容

範囲：八島ヶ原湿原を大きく外周（約4km）
エリアを13区にわけて調査

項目等：植物相（5月～10月）
水環境（pH、透視度等を5月～8月）

今年度の調査日

4月29日（土）	11:00	～12:00	植物相、水環境
5月 7日（日）	11:00	～12:00	植物相、水環境
5月28日（日）	8:30	～12:00	植物相
6月18日（日）	11:00	～12:00	水環境
6月25日（日）	6:30	～12:00	植物相、水環境
7月22日（土）	6:30	～12:00	植物相
8月26日（土）	6:30	～12:00	植物相、水環境
9月16日（土）	6:30	～12:00	植物相

*10月調査は、9月の結実状況、天候を考慮し、今年度は欠測にしました。



レンゲツツジのつぼみ
6月25日撮影



シーズン最後のレンゲツツジと
シーズン最初ニッコウキスゲ
7月9日撮影（エコツアー下見時）



ニッコウキスゲ
7月22日撮影
8月には主役はマツムシソウにバトンタッチ

2008年～2017年の調査区域の変化

植物相調査は、木道、登山道を主体に約4kmの調査ルートを設定し、確認した花を記録しています。湿原内は専門家が調査を実施するため、調査対象にはしていません。

調査区域の植生概況はススキ草原が主体です。調査区域を植生等から13分割しましたが、データの補完を目的とし、一部、許可のもと、旧牧草地、ピーナスライン沿いも調査を行っています。



植物相モニタリング調査区域図（赤字の①～⑬調査区域名）



八島ヶ原湿原に設置されたシカ防除柵（湿原を囲むようにある赤い線がシカ防除柵）

モニタリング調査を開始してから2年後の2010年、八島ヶ原湿原を囲むようにシカ防除柵が設置されました。モニタリング調査は、当初想定外の柵の内外の調査を兼ねることになりました。

柵の内側は、シカ被食防除の効果により、毎年、多様な花が見られます。

一方、柵の外側では、アヤメがシカの被食のため、かなり小さくなり、確認数も少なくなりました。しかし、クリンソウはシカの被食被害がありませんでした。また、シカによって作られた「けもの道」では里山の在来種ではありますが、10年前はなかったヤブマメが定着しつつある場所もありました。

霧ヶ峰における環境保全活動

霧ヶ峰では関係各位の協力により様々な環境保全活動が行われています。今年度は、諏訪市主催により、春と秋に行われた雑木処理活動のご報告です。

今年度は、春は4月22日、秋は9月24日に実施されました。

春の雑木処理

春の雑木処理は踊場湿原の広い斜面を対象とし、刈り払い機で雑木を伐採する人、雑木を運び出す人に作業を分担し行いました。雑木を運び出す際に、ブルーシートとトラロープを活用しました。貸与されたブルーシートとトラロープの使用方法是、誰かが教えるわけではなかったですが、おおむね写真のような方法で運搬していました。この自然発生的な方法が不思議と効率的でした。「草原に教えられた？」



春の雑木処理（踊場湿原）

手前が雑木を伐採する人、奥がブルーシートで雑木を包んで運ぶ人



雑木の運搬①

シートを敷きます。ブルーシートの穴にあらかじめトラロープを縛っておきます。



雑木の運搬②

シートの上に雑木を置きます。



雑木の運搬③

ロープで縛り、肩に担いだり、二人で抱えたりして運び出します。

秋の^{ざつぽく}雑木処理

秋の雑木処理は車山肩方面のピーナスライン沿いです。手のこぎりで伐採した雑木を道路沿いに置いていき、トラックで回収していきます。秋の清々しいなかの作業でした。



秋の雑木処理
天気は秋晴れ



作業は手のこぎりによる伐採

まとめ

駆け足ではありますが、今年度の活動をまとめてみました。

エコツアーは同行取材、追加催行がありました。モニタリング調査は10年目を迎えました。

また、霧ヶ峰の関係各位の印象深いイベントに参加した年でした。

開山祭の際、頭上を飛翔するグライダーを見ましたが、晩秋までグライダーの飛翔をよく見た年でした。旧御射山祭では、甲冑演武奉納を拝見し、ひと時、中世の霧ヶ峰を想像することができました。

霧ヶ峰は、自然、歴史、文化、保全活動等多様な要素を組み合わせ魅力的な観光展開が可能な地域です。霧ヶ峰基金もエコツアー一層練り上げ、多様な霧ヶ峰の魅力を一層発信していきたいと考えております。

下諏訪町秋宮の近くには黒曜石の展示施設「下諏訪町埋蔵文化センター」が開館しました。

近年の観光は、テーマ性を持ったルートを巡るスタイルが確立されつつあります。霧ヶ峰においては、黒曜石をテーマに霧ヶ峰周辺と関連したエコツアーの用意も必要な時期に入ったか思います。紙面の都合で割愛しましたが、考古展視察等をもとに作成した、会報新年号の黒曜石に関するエピソードは、これからのエコツアーの台本の一部でもあります。

霧ヶ峰基金では、これまで、霧ヶ峰の水資源に着目し、山小屋で喫茶、さらに霧ヶ峰の麓で地元酒蔵でのテイasting等をエコツアーのオプションとして加えてきました。

さらに、霧ヶ峰近傍の国有林で出番を待つ御柱の見学、霧ヶ峰の神社巡り、サイエンスカフェ等、従来のエコツアーの枠を超えて、試験的なプログラムを多々実践してきました。

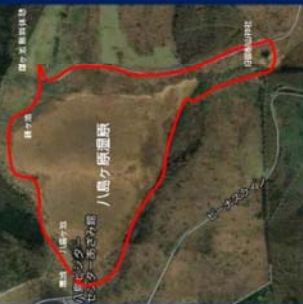
次年度からは、これまでの財産である、これら試験ツアーを再検証したエコツアープログラムづくりに挑戦していきたいと思います。

今後も目標に向かい、さらなる躍進を遂げたいと考えております。一層のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人霧ヶ峰基金 理事長 小原宏文

「信州 山の月間」エコツアー 八島ヶ原湿原ハイイク

NPO 法人霧ヶ峰基金では、「信州 山の月間」である7月15日～8月14日に、エコツアー「八島ヶ原湿原ハイイク」を催行しています。涼風のなか、湿原、夏花を巡るツアーの様子をダイジェストでご紹介いたします。

 八島ヶ原湿原ハイイクの経路 木道、鞍馬路を利用し実施します。(赤ラインがルート) 鞍馬路は、湿原→八島ヶ原→霧ヶ峰→霧ヶ峰湿原休憩所 →信濃駒山神社→湿原	 ①スタート 八島駒山 8:00集合でツアー・スタート。 約4kmのコースを約3時間で歩きます。	 ②八島ヶ原から駒山方面を望む 八島ヶ原、八島ヶ原湿原、駒山を望めます。 夏の花たちはオールスターの競走。	 ③大きな水平原 一見草原のようだが八島ヶ原湿原。432ヘクタール。 東京ドーム約9個。増えた記号量は8m、12000年の歴史。	 ④霧ヶ峰湿原休憩所 NPO 会員の会費、ご寄付で運営している休憩所。 貴重な場所です。	 ⑤旧駒山神社 (もとみきやまじんしゃ) 黒澤石 (旧石神社、中世、新田公繁さんの川原「霧 の子神」の伝説) のお話をします。歴史ツアーです。	 ⑥駒山下の木道 ヨツバにヨドリに咲き誇るアサギマダラを観察。 大人も子供もアサギマダラになります。	 ⑦ゴール 霧のなかで始まったツアーも最後は青空。
 ササのマシガンボールを推測 (見入る？ トリックは？)	 駒山山原 (歴史のお話)	 アサギマダラ (ツアーの人々もの)	 風車に舞える落ち葉やドリギ (リピーターの人気もの)	 ヤマギランの咲き (8月)	 徒木道 (これからの時期維持)	 下見で見た シカの角	

八島ヶ原湿原ハイイク お客様の心を繋ぐかみしたエピソードです。

2017年度 特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金 活動報告書

発行 2018年3月31日

発行者 特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

〒393-0051 長野県諏訪郡下諏訪町大社通り5528-1 山猫亭2F

TEL 090-9668-3380 e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

URL <http://kirigamine-fund.jp> ブログ 「霧ヶ峰のWA!」 <http://blog.canpan.info/kirigamine-wa/>

印刷 株式会社オノウエ印刷 〒392-0015 諏訪市中洲 586 番地 TEL:0266-52-8020 FAX:0266-52-3058
無断転載禁止